

まちづくり部 キックオフデイキャンプ実施報告書

令和 5 年 2 月 27 日
菊川市市民協働センター

【場所】：菊川市役所 東館 3 階会議室

【日時】 2 月 11 日（土）10:00～16:00

2 月 12 日（日）10:00～13:00

【プロジェクト参加者】

15 人（高校生 11 人、大学生 4 人）

【当日参加者】

2 月 11 日（土）12 人、2 月 12 日（日）10 人

【内容】

菊川まちづくり部（ユースカウンスル）が地域の課題解決や魅力発信などを若者たちが課題とを感じるものをテーマとして、チームに分かれ、取り組んでいく。まちづくり部の運営、意思決定は若者であることが大きな特徴である。対象は高校生、大学生等の 15 歳～25 歳の若者である。若者の影響力を高め、若者の意見反映を実現していくための政策提言にも取り組んでいく。

【ユースカウンスルについて】

ユースカウンスルとは、「その地域に住む若者たちの声を集め、地域の若者をエンパワメントし、地域を変えるための協議体」のことで、日本語では「わかもの会議」「若者協議会」などと訳される。市政への直接的な政策提言を行うものや地域での活動を主軸としたものまで様々な形態があるが運営も若者が主体的に行うということが大きな特徴。

【プログラム概要】

<1 日目>

1. オープニング
2. アイスブレイク自己紹介（共通点探し）
3. チームビルディング
4. まちづくり部と今年の活動について
5. 深め自己紹介（脳内メーカー）
6. ユースのつぶやき！
7. ユースカウンスルってなに？
8. まちの魅力、課題とは？
9. マニフェスト宣言タイム
10. 1 日の振り返り

<2 日目>

1. オリエンテーション
2. アイデア共有とグループ分け
3. プロジェクト会議 課題の整理（ロジックツリー）
4. 連絡と今後
5. ランチ

【まちづくり部今後の流れ】

2 月

- ・ キックオフデイキャンプ
 - テーマ・チーム決め
 - 課題の分析と活動計画づくり

3 月～5 月

- ・ 現状把握、インタビュー

6 月～7 月

- ・ 新城市若者議会視察旅行
- ・ 政策提言に向けて準備

8 月

- ・ 政策提言発表会（下旬）
- ・ 新城市若者議会報告会

9月～10月

- ・ 企画実行

- ・ 菊川市 1%交付金申請

11月

- ・ 1年の振り返り

【所感】

第1期のメンバーは高校生、大学生の17人の参加者の内13人が昨年からの継続参加（新規入部4人）となった。昨年（0期）はセンタースタッフが顧問として運営を行っていたが、今期は大学生メンバーが、2日間のワークを企画した。2日間の1日目はほとんど大学生が場づくりをした。ワークでは部員各々が菊川市の課題や魅力を考え発表し、興味、関心のあるテーマごとにチームに分かれた。また、ユースカウンスルについて学ぶ時間では、動画を視聴し、今後ユースカウンスルとして若者の声を届けていくことがなぜ重要なのかについて考えを深めることが出来た様子だった。メンバーからは、「アットホームな雰囲気ですぐにでも気軽に参加できた」「昨年の経験も活かして、これからも頑張っていきたい」などの感想が聞かれた。

【当日の様子】



菊川まちづくり部中間報告会実施報告書

令和5年8月28日

市民協働センター

【日 時】令和5年8月25日（金） 17:30～19:00

【場 所】菊川市役所東館プラザきくる3階 会議室（301）

【目 的】菊川まちづくり部のこれまでの活動報告や今後の活動計画を参加者に発表し、コメントをもらうことで、企画をブラッシュアップし今後の活動につなげる。また、報告会に参加している大人にまちづくり部の活動を知ってもらうことで、若者のまちづくり活動への理解を得る。

【発表者】18人

【発表グループ】

Canko（観光）、Poks2023（駅前活性化）、自然たい（自然環境）、Mスぺ（交流スペース創出）

【参加者】

岡田祐三（地域支援課）、山崎雄太（営業戦略課）、高木俊（商工観光課）、高木淳（商工観光課）、白畑達徳（イツワ不動産）、加藤智久（島田掛川信用金庫）、豊島宏恵、落合田枝子

【内容】

1. 挨拶
2. まちづくり部紹介
3. プレゼンテーション
4. コメンテーター総評
5. 交流会
6. 閉会

【参加者感想】

- ・ 新しいアイデアを得ることが出来たととてもいい機会だった。
- ・ どんどんチャレンジしてもらいたい
- ・ 失敗してもいいので、その中でやりたいことを見つけて行って欲しい
- ・ 菊川の将来は明るいと感じました
- ・ どのチームも面白い提案でした
- ・ 学生のうちに機会、経験を活かして行って欲しい
- ・ 若者視点が重要だと感じました
- ・ 菊川はまちづくりをサポートする大人が多いので、大人を頼ってくれればと思う
- ・ チャレンジ、考察、再チャレンジをしていくことで、ブラッシュアップしていけるといい
- ・ 今ある環境をどう使うかを考えて行って欲しい

【報告会様子】

報告会は、まちづくり部の高校生と大学生メンバーが主体となって、準備から当日の運営までを担当した。参加者からは、多くのプロジェクトに関するコメントや、まちづくり部のメンバーを応援するコメントをいただいた。また、発表後の交流会では、プロジェクトでの苦労や今後の展望について話し合いながら、参加者とまちづくり部のメンバーが楽しく交流した。

